

私たちは、10代の頃より互いに切磋琢磨し、アメリカでさらに其々の音楽を深めてきました。前半では、20世紀、そして現代のアメリカが感じられる曲を、後半では、その生涯をアメリカで閉じたラフマニノフが、ニューヨーク州で作曲した最晩年の傑作をプログラムに取り入れました。望郷の念、コミカルな風刺、国の空気感を、音楽を通して私たちの故郷北海道で共有できればと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

Program For Two Pianos

バーバー 思い出 Op.28

Samuel Barber : Souvenir Op. 28

グレンジャー ポーギーとベスによる幻想曲

Percy Granger : Fantasy on Gershwin's Porgy and Bess

ボルコム 「エデンの園」より悪魔のキス

William Bolcom : "The Serpent's Kiss" from The Garden of Eden

ラフマニノフ 交響的舞曲 Op.45

Sergey Rachmaninoff : Symphonic Dances Op.45



北濱 佑麻 Yuma Kitahama

札幌市出身。京都市立芸術大学、同大学院音楽研究科修士課程を大学院市長賞を受賞し首席で卒業。奨学金を得てアメリカ、ノースフロリダ大学Performance certificateで学ぶ。留学中アンサンブルピアニストとして活動するほか、多数の演奏会に出演。全日本学生コンクール高校生の部奨励賞。第27回ピティナピアノコンペティションF級北海道大会本選1位、札幌市長賞受賞。イタリア、フィラデルフィア市国際音楽コンクールピアノ部門カテゴリーF第1位。2015年日演連オーケストラシリーズにて高関建氏指揮 札幌交響楽団と共演。2017年に帰国し、札幌を中心に演奏活動、後進の指導に当たっている。

Takako Tokuda 徳田 貴子

恵庭市出身。北広島高校卒業後渡米、シンシナティ音楽院等で研鑽を積んだ後、マイアミ大学フロスト音楽学校にて音楽博士号を取得。これまでにシンシナティ音楽院協奏曲コンクール、Odysiad国際コンクール優勝。MTNAコンクール、シャタークワ国際コンクールなどにて入賞する。シンシナティ大学交響楽団と共演の他、ニューヨーク州立大学コンサートシリーズ等、全米東海岸から西海岸までの多数のコンサートシリーズに招聘されソロリサイタルを行い、地元紙に「魅力的な解釈」と評される。10年間の留学生生活を終え、2016年に完全帰国。札幌コンセルヴァトワール専任講師。

